

# 教師ノート

日付	2012年12月 2日
単元	クリスマス
テーマ	イザヤの証し
タイトル	神さまはともにおられます
テキスト	イザヤ7:14
参照箇所	イザヤ7章、9章、マタイ1章、28章
暗唱聖句(教会で使用している聖書訳を記入して下さい)	マタイ1:23
AG 日曜学校教案参照箇所 (リンクできます)	

## □導入

例:どんなに偉い人でも、誕生日が祝われるのは、普通生きている間だけです。亡くなっている人の誕生日会ってしないよね。クリスマスはイエスさまの誕生日です。約2千年も前に誕生したイエスさまの誕生日は、毎年毎年世界中でお祝いされます! どうして? それは、イエスさまは今も生きているからなんですよ。すごいよね!

## □ポイント1 イザヤは救い主が生まれることを預言しました。

今から2700年ぐらい前のイスラエルにイザヤという預言者がいました。預言者というのは、神さまの言葉を預かって(聞いて)人々に伝える働きをする人です。預言者のイザヤは、イエスさまが生まれる700年ぐらい前の人です。そのイザヤによって700年ぐらいも前に、救い主(イエスさま)が生まれることを預言していたのです!

例:今から700年ぐらい前というと日本では鎌倉時代です。お侍さんが強かった時代です。その頃の人々が21世紀の日本の社会を見たらきっと驚くでしょう。飛行機やロケット、電話、テレビなど、想像も出来ないでしょうね。預言者イザヤはイエスさまが生まれる700年ぐらい前の人ですが、救い主がどのようにして生まれるのか、そして救い主の生涯について(イザヤ53章)も神さまから預かった(聞いた)言葉を伝えていたのです。神さまは永遠のお方なので、過去・現在・未来のことを全て知っておられるのです。

## □ポイント2 イザヤの預言は成就しました。

今年は西暦何年でしょう? そう20\*\*年ですね。実は、イエス様は今から20\*\*年前に生まれました。イエスさまが生まれてから1年2年と数えて今年が20\*\*年なのです。イエスさまはイザヤの預言の通りに生まれました。神さまの言葉は、必ず実現(成就)します。神さまは真実なお方ですから、約束したことを破られるようなお方ではありません。

例:今年は阪神タイガース(その年に優勝した球団で)が優勝しましたね! 毎年野球の評論家がどのチームが優勝するのかを予想しますが、当たることもあれば外れることもあります。人間がする「予想」というのは、とつてもあやふやです。またテレビで占い師が登場していろいろなことを言い当てたりしています。よく当たる占い師もいるようですが、当たらないこともたくさんあります。聖書は占いをすることを禁じますし、神さまは喜ばれません。(自分の未来がどうなるか分からなくて不安になるから、占いを頼ってしまうでしょうね。私たちは、神さまがいるから大丈夫という信仰をもって、神さまに信頼することが大切なのです)聖書の預言は、当たるか当たらないか分からない占い師のする「予言」ではありません。星座や血液型、風水で相性が良いとか悪いとかということが大切なものではありません。大切なことは、力があり、必ず実現していく神さまの言葉(預言・聖書の言葉)を信じていくことです。

事例:ある教会の教会学校の教師が、子どもの様子が何かいつもと違うように感じていました。いつも通りに教会学校に来ているのに、賛美をしている時の子どもの表情も以前のようなのではなく、また聖書のお話しもすんなり入っていかないように感じていました。ある時、家庭訪問をして子どもの部屋に入った時に、本棚に占いの本が数冊あったようです。そしてその子どもは、占いを気にするようになっていたようでした。そこで教師は、「神さまは占いを喜ばれない」ということを教え、子どもの承諾を得て一緒に処分をしました。すると以前のように元気よく賛美し、聖書のお話しを素直に聞くようになったようです。特に何の問題も原因もないのに、子どもの信仰や靈性に違和感を覚えるようであれば、祈りつつ、占いなどにのめり込んでいないか尋ねるのも良いでしょう。ただし、何でもかんでも悪霊などの靈的な次元に決めつけてしまわないように御霊の知恵と識別力を求めることが大切です。

□ポイント3 イエスさまは私たちとともにおられます。

イザヤは救い主が「インマヌエル」と呼ばれるという預言をしました。「インマヌエル」とは、「神さまは私たちとともにいる」という意味です。もちろん救い主には、「イエス」という名前がつけられました。救い主の名前は「イエス」ですが、その救い主は私たちとともにおられるということなのです。イエスさまは、イエスさまを信じる私たちと今も一緒におられます。そしてイエスさまは、どんな時も何があっても、これからも、いつまでもイエスさまを信じる私たちと一緒にいて下さるのです！（マタイ28:20参照）

例:「インマヌエル」を実感した教師の体験を語ると良いでしょう。

先生は小学生の時とっても恐がりでした。怖い夢を見たりすると、幽霊が出るんじゃないかと夜中にトイレに行くのも恐かったんです。でも「♪主がついてれば恐くはないと、聖書の中に書いてあります♪」という賛美を覚えて、時々その賛美を思い出しながら「そうだイエスさまと一緒にだ。イエスさまがついているから大丈夫だ」と信じていくと、だんだん恐がり直ってきたんです！

□結論 イエスさまは、昔話に出てくる人ではありません。信じる私たちといつまでもともにいて下さる神さまで。 暗唱聖句を読み上げます

□適用（聞き手に最もふさわしい適用が与えられるように祈りましょう）

イエスさまは、約2千年前のユダヤの国に生きて、今はもうなくなってしまった過去の人ではありません。今も信じる私たちとともにいて下さる神さまで。さびしい時も、うれしい時も、どんな時でもいつまでも一緒にいてくださる神さまで。

1. みんなは今まで、どんな時にイエスさまと一緒にいてくれたんだあと思いましたか？
2. 私たちとともにいて下さる救い主・イエスさまを与えて下さった神さまに感謝をささげましょう。
3. 私たちの友だちに「ひとりぼっちじゃないよ。イエスさまがいるんだよ。クリスマスは僕たちのためにイエスさまが生まれた日なんだよ」と伝えましょう！